

# 古川レポート

第8号 (2000年12月1日)  
発行：古川レポート編集部

横浜市旭区中希望が丘  
252-50  
TEL391-4000FAX366-9700  
E-mail：  
Office@furukawa2002.com



## 古川なおきのメッセージ

いよいよ二十一世紀まで秒読みとなりました。皆様お元気にお過ごしでしょうか。私は忙しいながらも元気で充実した毎日を送らせていただいております。

さて、最近の私の関心事といえば「行政評価」です。「行政評価」とは簡単に言えば市役所や区役所が行っている業務に民間会社の経営改革手法を取り入れ、業務を効率よくして私達の納めた税金を有効に使い、福祉や消防・道路など市民サービスの向上を図ることです。私達は住民票をとるのに手数料を払いますが、1件三〇〇円の手数料だけで、区役所職員の人件費や経費等・コストのすべてを賄うことは不可能です。業務の効率を上げそのコストをいかにして下げていくかが重要です。

例えば行政評価を導入すると各区の住民票一枚の発行にかかる経費が数値で表されるので、旭区をはじめ市内十八区ごとの比較が明確になります。評価は公開が原則なので行政の中でも競争原理が働き、より一層業務を効率化しようと職員も努力します。自分の仕事が多岐にわたるだけに市民の役に立っているのかがわかればやりがいも

大きくなると思われれます。

十二月六日の本会議で私はこの「行政評価」を早期に導入すべきであると市長に質問をいたします。二十一世紀は少子高齢化や情報化対策など行政に対する需要や課題は数多くあります。民間企業に委託できる業務は委託し、行政評価を早期に導入し、多きにわたる行政事業やサービスを数値で表し、行政も議会も市民もわかりやすく市政について議論し、市民満足度を高めていくようにしなければなりません。

私は、行政とは納税者を顧客とする「サービス産業」であると常に意識をし、また約三万人の横浜市職員の方にもこの認識をもっていただけるよう行動していきたいと思っております。今後とも皆様のご指導をよろしくお願いいたします。すばらしい新世紀をお迎えになりますことを心よりご祈念いたします。

皆様へ  
本年も私の活動をご支援いただきありがとうございました。政治家が選挙区内の人や団体に自筆による返信を除き、年賀状、暑中見舞いなどの時候のあいさつ状を出すことは、法律で禁じられております。どうかご理解のほどよろしくお願い申し上げます。  
私は21世紀も元旦より始動します！

◇御礼◇紙面に於て古川レポート発行へのご協力をお願いしたところ数名の方よりご寄付をいただきました。本当にありがとうございました。これからもがんばります！

※このレポートは横浜市政と有権者の皆様とのパイプ役として、又古川議員の活動報告として発行しています。作成費用はすべて皆様からの浄財で成り立っています。もしご協力いただける方がいらっしゃいましたら次の口座までお願い申し上げます。口座名：横浜銀行二俣川支店 普通口座 1347667 「古川直季青春の会」  
「古川なおき青春の会」は政治資金規正法に基づく政治資金管理団体であり、個人がこれに寄附をした場合確定申告で寄附金控除の対象になります。

☆古川なおきのホームページを開設しました！  
<http://www.furukawa2002.com>です！

お待たせいたしました。毎週のペースで活動記録が更新されます。ぜひご覧下さい！

☆古川レポート編集部のメールアドレスも新設しました！[office@furukawa2002.com](mailto:office@furukawa2002.com)です！